

社会人基礎力って何ですか？

それはあなたの未来をつくる力

近年、学生が身に付けるべき力として、社会人基礎力という概念が重要視されつつあります。社会人基礎力とは、これから先の人生

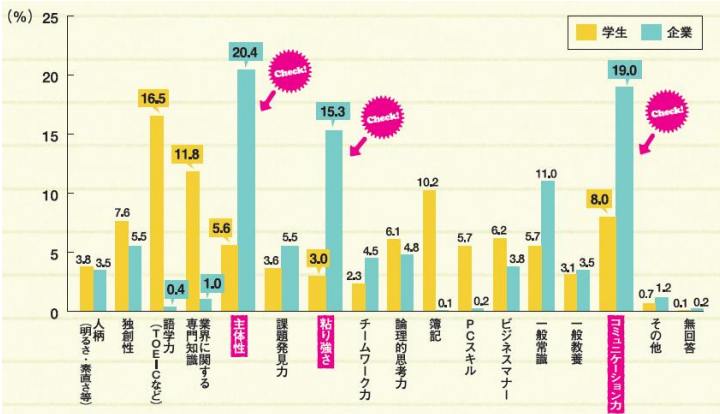
で絶対に必要不可欠な能力であり、人間が成長して大人になっていく過程で獲得していく力、社会で活躍している人なら必ず持っている力であり、未来をつくる力であると説明されます。

新卒者が入社3年以内で相次いで退職する問題（7・5・3現象）が社会問題化しています。この原因として、企業が求める人物像が不明確でわかりにくいということから起こる、企業と学生間の雇用のミスマッチが指摘されています。

こうしたミスマッチを解消するために、求められる人物像の共通の基準として、経済産業省主導で社会人基礎力という概念が定義づけられたのです。

社会人基礎力の養成は今宮工科高校においても、学校経営計画の中期の目標に位置づけられており、学年としても指導の軸にしていききたいと考えています。

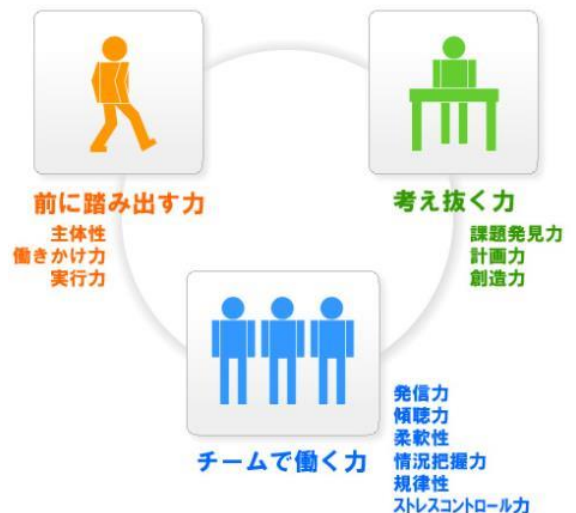
左のグラフは「学生に不足していると思われる能力」についての、学生側と企業側との回答です。学生側は語学力や業界の専門知識、簿記、PCスキルなど、「知識」や「スキル」が不足していると感じています。対して企業側は主体性や粘り強さ、コミュニケーション能力など、社会人としての「資質」が不足していると感じています。雇用のミスマッチを防ぐには、社会人としての「資質」が求められていると学生側が理解し、身に付けることが大切なのです。



何か問題や悩みがあったとき、それを克服するために必要なのが社会人基礎力です。解決するにはどうすればよいか必死になって考えること。そして実際に行動に移してみることが。さらには、誰かに助けを求めたり、一緒に協力して乗り越えるという。そうして自分で何とかする力を社会人基礎力と呼ぶのです。親や誰かに何とかしてもらっているうちは、まだまだ子どもだといえます。

世の中自分の思うとおりにならないことだらけですが、だからといってあきらめたりふてくされたりするのは違います。それでも何とかしてこそ立派な大人なのです。ですから我々担任は、君たちに対して「じゃあどうするの?」「何とかしてみなさい」と指導します。もし何とかできないければ助けます。だから皆さんは、うまくいかないことがあってもあきらめず、粘り強く取り組んでみてください。その努力は必ずや君たちの未来をつくる力となるはずですよ。

要するに「何とかする力」



▼社会人基礎力とは…

2006年、経済産業省の産学の有識者による委員会にて、「職場や地域社会で多様な人と仕事をしていくために必要な基礎的な力」として上記の3つの能力（12の能力要素）からなる力を「社会人基礎力」として定義づけされた。